

回歳末チャリティー演芸会

自分のまちを良くするしくみ



共同募金

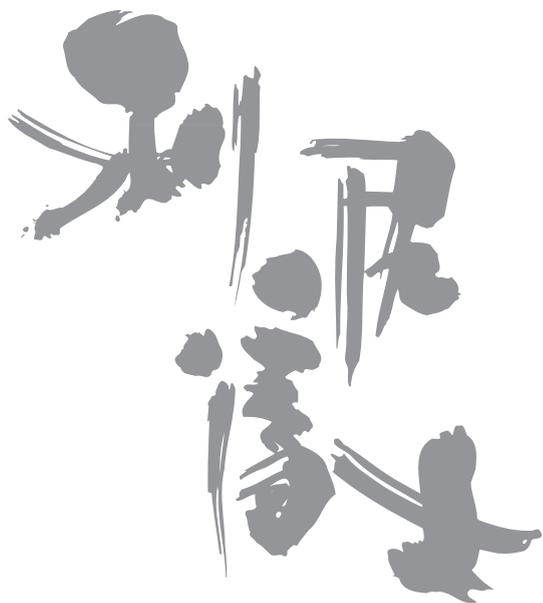
みんなの力が支えています



多彩なジャンルで大盛会!

～歳末チャリティー演芸会より～

議会だより



定例会9月会議

平成26年度一般会計補正予算などを可決	2～3
1 議員が一般質問	4
平成25年度各会計決算を認定	5～7
行政報告 利尻空港の利用状況など 5件	7～8

定例会11月会議

人事案件並びに選挙	8
-----------	---

定例会11月第2回会議

職員の給与に関する条例の一部改正などを可決	8
-----------------------	---

平成26年12月

NO 165

定例会9月会議

定例会9月会議は、9月29日、30日の2日間開催されました。

本会議では、町長から条例の一部改正、一般会計ほか4特別会計の補正予算などが提案され、慎重な審議の結果、原案どおり可決しました。

また、平成25年度各会計歳入歳出決算の認定が提案され、議長及び議会選出監査委員を除く議員全員による決算審査特別委員会（飯田睦穂委員長）を設置し審査しました。

条例改正

▽利尻富士町保育所条例の一部改正について

▽利尻富士町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について

〔改正点〕

父子家庭に対する支援の拡充を図るため、法律の題名を母子及び父子並びに寡婦福祉法に改めたことによる関係条文の改正。

原案可決

規約の変更

▽北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

〔変更内容〕

団体の加入により規約の一部を変更する。

原案可決

財産の取得

▽戸籍総合システムの取得について

取得金額 1620万円

譲渡を受ける相手方 札幌市

中央区北4条西6丁目

北海道市町村備荒資金組合

補正予算

組合長 田岡亮介

原案可決

▽平成26年度一般会計補正予算（第2号）

〔補正内容〕

補正額6406万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ40億5544万8千円とする。

質疑

Q 伊藤議員 鴛泊のパークゴルフ場がカラスの被害で大変な状況にあります。10月で使用期間が終わるが、来年春季から利用するための対策を考えているか。

A 教育委員会次長 カラスの被害対策の件ですが、カラスに芝を掘り起こされるという大きな被害が発生しております。原因については、芝生の害虫であるコガネムシ科の幼虫が大量発生したということですが、芝の根の先端あたりに幼虫が生息していて、その根を食い荒らしたことが原因で、芝が剥がれやすくなつたということだと考えます。委員会としましては、追い払い対策や飛行妨害対策等を試み

ましたが、効果は一向に現れなかったわけでありませぬ。これから他課とも連携を図り、専門業者にも相談しながら来年度に向けて色々な事を講じていきたい。

Q 再質疑 パークゴルフ場は住民の健康増進を図る目的を持っており、また、使用者は料金を払いながら使っているわけですから、不便をかけるような開設に向けての施策を実施していただきたい。



カラスによって芝を掘り起こされたパークゴルフ場

等は入りませぬ。そこで、吸引車というものを使って土砂を吸い取るという工法になります。実施時期は議決をいただけましたら早急に発注したいと考えております。

Q 飯田議員 地域おこし協力隊事業についての具体的な内容は。

A 総務課長 この事業につきましては、本町で初めて行う事業です。この趣旨については、総務省が地域力の創造と地方の再生を目指した制度ということ、協力隊が人口減や高齢化等の進行が著しい地方で、地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図るため都市住民のニーズに応えながら地域の推進・強化を図ることが目的であります。当町では、外部からの目線による移住・定住、高齢者支援対策、少子化対策など様々な施策の基礎となるプランニングを取り込んでいただくということ、具体的にはこれから詰めていきたいと考えています。期間は10月1日から年度ごと3月31日までとしており、最長3年間契約できる制度となっております。

Q 米谷議員 修景池の災害復旧工事の関係で工法と工事の実施時期は。

A 産業建設課長補佐 公園内ということ、バックホー

Q 再質疑 町内色々な角度から見てもらう、検討してもらおうということだが、プランニングの結果をある程度まとまった段階で議会側にも報告等があるのか。

A 総務課長 議会への報告については、問題や課題、方向性が纏まった段階ではもちろんですし、ホームページ等の広報手段を用いて公表したいと考えています。

Q 戸嶋議員 先程の修景池の災害復旧工事に関連しまして、神社通りに水が溢れるということと、泥を取り除くことで解決するのかという疑問を持ちます。登山道路の側溝から水が溢れて流れ出た水が修景池に溜まり溢れ出たように思われ、抜本的に泥を取り除いただけでは全てが解決するように思えないが。

A 産業建設課長 確かに登山道路からも水が来ていますし、全体の排水が間に合わずに溢れている状況と考えています。泥を取っただけでも解決しないだろうとも思っています。その対策については、排水口を大きくすれば良いのでしょうか下流側との関係もありますので慎重に対応し



8月24日の大雨時
修景池から神社通りへ溢れ出る雨水

なければならぬと思っております。現在考えているのは、雨量が増した場合に早めに消防に依頼し、修景池の水を抜き、ある程度水量を減らしながら、それを一つのクッションとして対応したいと考えています。



Q 戸嶋議員 同僚議員の質疑に関連して、先程のパークゴルフ場のガラス食害対策の件であるが、来年5月にパークゴルフ場がオープンすることを考えると、今対策予算を補正しなければ間にあわないのでは。

A 教育委員会次長 害虫駆除の関係はこれからの検討課題になりますが、被害箇所へ芝の種の散布、肥料の散布、土の補充などできる限りのことは現計予算で対応したいと思っております。

原案可決

▽平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額430万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ7691万8千円とする。

原案可決

▽平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額356万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ1億9844万7千円とする。

原案可決

▽平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額19万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4998万7千円とする。

原案可決

▽平成26年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額526万5千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ3億370万5千円とする。

原案可決

報告

▽平成25年度利尻富士町一般会計及び特別会計決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が町長から報告されました。

意見書

※次の意見書は、定例会9月会議で原案のとおり可決し、関係行政庁へ送付しました。

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

◎漁業用燃油にかかる軽油引取税の免税措置の堅持に関する意見書



定例会9月会議 一般質問

9月29日開催の定例会9月会議において、町行政に対する一般質問がありましたので、要旨をお知らせします。

空き家等の対策について



安楽昌弘 議員

安楽議員 町内には老朽化したまま放置されている空家等の建物が数多くみられるようになっていきます。これが暴風などで倒壊や散乱する危険性があると住民から対応策を求められた場合、所有者が在住していれば危険対策等の協議や相談を行うことが可能であると思いますが、所有者が不在、所在不明等の場合、行政としても直ちにその対応策をとることが困難になることが予想されます。このような場合の措置として、住民の安全性確保と観光地としての環境美化を図る上でも、我が町独自の空き家等の対策条例を制定し、あらかじめ法的手段を講じておく必要があると思います。町長の所信をお尋ねします。

町長 全国で空き家問題が政策課題として取り上げられるようになってきています。放置された空き家はそれに伴って老朽や災害で倒壊する危険があるばかりでなく、防犯、生活環境の悪化、景観の悪化など様々な問題が生ずるといいます。地元自治体の悩みの種であり、個人財産に関わる問題なので、自治体はどのように関わらなければならないのか戸惑いがあり、どこの自治体においても取り組むべき喫緊の課題になってきています。空き家問題は、元々基本は所有者の自己責任の問題であることから、行政が安易に介入することはせずに私的に解決することが基本であると思いますが、法律の枠に留まっても現実には空き家は増えていきますので、新たな手法を考えていく必要に迫られていると思います。質問にあります町独自の対策条例を制定とのことですが、条例を制定する場合の内容として考えられるのは、管理不全な空家の所有者に対し、助言、指導、勧告、命令と段階を踏んでの対策になら

うかと思えます。しかし、所有者がこれを履行しない時、著しく公益に反すると認められるときは行政代執行法による措置を行うことになるかと思いますが、行政代執行は簡単に実施できないものではない法的手段の一定の限界もあります。現実には空き家もありませんし、今後が増えていくことも予想されますので、既にある物件もあるかもしれませんが、移住・定住等に利用する政策も考えてみたいとも思っています。今後、国の対策法案の動向を注視しながら、実態調査の結果を待って町独自の条例制定に向けての調査研究、現在制度化されている国の財政支援の内容などの把握を急ぎますのでご理解を賜りたいと思います。

再質問 町内つぶさに見て回ったわけではありませんが、大磯地区の道道沿いに相当老朽化して、強風によってあおられるような状況になっている建物があります。車の通りも多いということから何らかの対策をとらなければならないと思われるが再答弁を。

町長 個人の財産権という問題があり、行政が代執行しながら処理するということにはならず法律的な限界があるとも思っております。大磯地区の建物については所有者に対し倒壊の恐れがあるなどの助言等は行っております。現在担当課の方に実態調査を行わせており現状写真や様々なデータ等を作成整理しながら進めたいと思っております。私の考えでは、早ければ平成27年度中にも空き家対策等の条例を制定したいと、今のところは考えております。札幌、鶴岡、大磯、大磯、大磯の間だけでも利尻に行きたいという方々も多々いるようです。公営住宅には限度がありますので、このような事も考慮し、これから空き家等も増えると思われ、住民と協力しながら何とか活用できるような制度も条例の中に入れて制定したいと思っておりますのでご理解いただきたい。

68億6399万円を認定

平成25年度決算決算審査特別委員会

平成25年度各会計決算審査特別委員会は9月29日に開催し、付託された全11会計の決算を審査しました。

一般会計、特別会計合わせて68億6399万円となり、審査の結果、原案のとおり認定しました。

各会計の状況 ー平成25年度ー

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	46億1405万円	45億5958万円	5446万円
簡易水道事業	7890万円	7840万円	50万円
下水道事業	1億9810万円	1億9755万円	54万円
港湾整備事業	5億5153万円	5億5119万円	33万円
温泉事業	7401万円	7391万円	10万円
国民健康保険事業	4億5728万円	4億5595万円	133万円
後期高齢者医療	4557万円	4523万円	34万円
介護保険事業	3億2255万円	3億1918万円	336万円
介護サービス (秀峰園、老健、デイサービス)	4億6297万円	4億4710万円	1586万円
歯科施設 (鬼脇歯科診療所)	6156万円	5839万円	316万円
国民健康保険施設 (鷺泊診療所)	7884万円	7746万円	137万円
合計	69億4539万円	68億6399万円	8139万円

金額の単位は「万円」で切り捨てていますので、差引・合計が合致しない場合があります。

決算審査特別委員会での質疑

- Q** ふるさと応援寄付金報償費について、件数は何件か。
また、多額の寄付者に対しての報償は同じような内容の品物を贈っているようだが、ある一定の金額を超えて寄付をいただいた方に感謝状を贈呈するなど特別なはからいをする考えはないか。
- A** 件数については925件で439万1556円の報償費です。多額の寄付者に対しては、普通よりも特産品を多く贈呈している状況ですが、感謝状については、今まで贈呈はしていませんが、今後相談しながら検討したいと思えます。
- Q** 25年度のふるさと納税収入金額と26年度今現在の件数・金額がわかれば教えてください。
ただきたい。
- A** 25年度は1157万5900円です。26年度は8月末で纏めておりますが、285件で289万円となっています。
- Q** ウィンドウズXPのサポート期間が終わったが、25年度でどの程度の更新を行い、また今後の計画はどうなっているか。
- A** 約90台のパソコンを保有しています。その中で、昨年XP対応したのは29台となっており、その他は全てOSがウィンドウズ7等になっておりますので対応の必要はありません。
- Q** 清掃費のし尿処理業務負担金についての負担割合は。
- A** 利尻町と管理運営費を折半ということで、半々の負担となっています。
- Q** 離島漁業再生支援交付金4678万4千円の内容は。
- A** 鷺泊集落で11事業、鬼脇集落で12事業の実施となっていますが、主な事業は鷺泊ではウニの人工種苗移植事業、アワビの人工種苗放流事業、アマコの移植事業、害敵駆除事業等を実施しており、鬼脇ではアマコの人工種苗購入事業、ノナの移植放流事業、お魚をつくる植樹事業、ヨレモク対策事業などを実施しております。
- Q** 下水道費の水洗便所改造等補助金の内容は。
- A** 旭浜地区の合併浄化槽設置のための補助金ということで1件で16万円です。

Q 都市計画公園管理費について、温泉プール自体の総費用はどのようになっていくか。
A 温泉プール湯泳館の総経費ですが、需用費、役務費、委託料合わせまして1895万6267円が総費用となっております。

Q ふるさと応援寄付金について、26年度は現段階で285件、289万円と先ほど聞きました。25年度は925件で1100万円以上ありました。今ふるさと納税というのは色々な話題になっており、当町は先進的に早い取り組みを行ってきたわけですが、金額が減っている状況を見ると魅力ある商品を贈呈するなど知恵を出してもう少し寄付をしてもらえない形を作らなければならぬと思うが如何か。

A ふるさと応援寄付の件ですが、今年度8月末の件数と金額を申し上げますが、3月までまだありますので、これからの寄付に期待をしております。魅力ある報償の仕方をこれから検討したいと思っておりますし、まだ検討段階ではありますが、納めやすい仕方と

いうことではクレジット納付なども検討しており、今後も様々な面から検討して参ります。

Q 魅力ある商品ということでは、やはり利尻は昆布とかウニというブランド力がありますので、そのブランド力を利用して寄付いただいた方に提供していただきたいと思えます。

A 贈呈する特産品の内容は、業者によって多少異なりますがウニの一夜漬けは必ず入れるようにしておりますし、昆布が欲しいという方には花折り昆布とかトロロ昆布、場合によってはカニも入れたりし利尻島特産の物を入れておりますので、大変喜ばれております。

Q 温泉プールで18,000千円以上の経費が掛かっているとの答弁があったが収入はどのくらいになっているか。
A 温泉プール使用料、温泉プール貸付販売収入合わせまして73万5450円が収入となっております。

Q 温泉プールは大幅な財源負担になっています。これが

らいかに利用者増を図って収入を上げるのが大きな課題と思われるが、職員で知恵を出し合って収入確保に向けて取り組んでいただきたい。

Q 入湯税について温泉と北のしまーを除いた収入はどうなっているか。

A 総額については1346万400円ですが、その内宿泊業者からの収入は838万2150円となっております。

Q 宿泊業者からの徴収方法はどうなっているか。

A 各宿泊業者からの申告に基づきまして、大人150円の入湯税を徴収しております。

Q 介護サービス収入の未収が113万円程あり、その中で自己負担収入が112万円増えているが、この理由は。

A 3名分の未納となっておりますが、その内1名の未納が103万2984円となっております。この方につきましては、6月分から未納となり、それが3月まで未納となりまして、家族の方と話し合っ

末には纏めて支払するということであつたため納付を待っていました。最終的には未納になってしまったということとでございます。

Q 金額が溜まるほど払にくくなってしまふと思うので、少しずつでも納めていただきこれ以上未納額を残さないために、これから取り組んでほしいと思うが。

A 1名の大口の未納の家族と話し合いし、26年度で納付するように分割の納付計画を作成し、現在納付が進んでおりますし、今後も納付状況を見ながら完納に向けて注視して行きます。また残り2名の未納分については既に納付が終わっております。



質疑・質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせ下さい。



決算審査特別委員会報告書（抜粋）

委員長 飯田 睦 穂
副委員長 安楽 昌 弘

歳出においては、厳しい財政事情の中、町民福祉向上に直結する適切、効果的な事務・事業を執行し、特に国の補正予算等による補助交付金等を有効活用し、一般会計・特別会計を併せ1,571,491千円の普通建設事業費をもって、町内景気浮揚を図ったことは、継続的な行財政改革の推進に加え、効果的で効率的行財政運営によるものであり、町理事者の強力な指導力と牽引力が効を奏しているものと思います。

歳入は、税収入や各種使用料収入等の徴収に向けて事務担当者が連携してその対策にあたっている努力は認めたいが、町税、国保税、各種使用料等の新たな収入未済額の発生防止に努めるとともに、滞納額については、厳しい経済情勢ではあるが負担の公平性を欠かないためにも、滞納の実態に応じた収納方法を十分検討し、収入確保の実績が向上するようさらに努力していただきたい。

他方、国内政情に目を向けると、政府は国家政策の矛先を「地方創生」へと向けつつあり「元気で豊かな地方の創世」を成長戦略の柱に据えました。去る9月3日の第2次安倍改造内閣の発足に合わせ「まち・ひと・しごと創世本部」を設置し、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした施策推進を実行しようとしています。当町においても国の政策等を慎重に見据え、これまで以上に持続可能で安定した財政基盤を確立し、自主・自立を目指した行財政運営の下で、より一層の健全化と適正化が図られることを期待するものであります。

結びに、決算認定制度の意義として次年度の予算編成と財政運営に審議過程での各種検証事項や改善事項等を活かすことが求められます。これらを真摯に受け止めていただき、より一層町民満足度の高い次年度予算となることを望み審査意見といたします。

行政報告

定例会9月会議において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか4件について行政報告がありました。

◎利尻空港の利用状況について

利尻・丘珠間（HAC）は、6月は往復1211人で搭乗率1%。7月は往復1441人で搭乗率64.6%。8月は往復1524人で搭乗率68.3%となりました。

利尻・千歳間（ANA）は、6月は往復4233人で搭乗率64.6%。7月は往復6115人で搭乗率78.3%。8月は往復5111人で搭乗率69.9%となりました。

◎高齢者肺炎球菌ワクチン接種について

9月現在は70歳以上を対象

に任意接種で自己負担金3千円で実施していますが、10月から予防接種法の改正により、定期予防接種として実施されることとなります。原則65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる人まで2100円で接種することとし、この年齢以外の66歳以上の方の任意接種は2500円で実施します。

◎平成26年度普通交付税額の確定について

20億1318万5千円以前年度より1315万4千円少なく、0.6%減で決定しております。なお、全道町村平均は4.7%の減。宗谷管内町村平均は5.0%減であります。

◎高橋知事の災害状況視察について

8月26日に高橋北海道知事が武部代議士、吉田道議、三好道議と共に8月24日の大雨警報及び土砂災害警戒情報発表による災害状況視察のため来町されました。

私からは、住民の避難勧告に対しての状況、特に本町は

土石流が心配なため急傾斜地・河川の調査に対しての技術的支援等を説明し、その後現地調査で排土が必要な河川を含め要望した結果、早速ヤマナイ沢川、オチウシナイ川の排土を実施していただきました。9月4日に私も道庁に出向き、今後の大雨に対する対策等を要望してきました。

◎水産技術普及指導所について

8月1日に道庁水産林務部水産振興課長が来町し、平成18年3月に策定した北海道における水産業改良普及事業見直しの基本方向と、平成21年3月に改定された北海道職員適正化計画を踏まえ、本町にある水産技術普及指導所を支所化し、稚内を本所として職員3名を2名体制に、平成27年度から実施するとの申し入れがありました。私からは、水産業が地域経済を牽引する基幹産業であり、資源管理、漁場環境保全のため技術普及や指導が必要であるとし反対を申し上げておりました。この問題は本町ばかりでなく、利尻町、礼文町、奥尻町も関

係があるため、9月25日に北海道離島振興協議会として関係町長が道庁水産林務部を訪れ、普及組織の体制について現状維持に万全を期すよう要望してまいりました。同日、道議会自由民主党道民会議にも同内容を要望してまいりました。



議会に行こう

傍聴は、

議会活動にふれる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などをぜひご自身でご確認下さい。会議当日の受付で傍聴できます。役場3階の傍聴入口までお越しください。

定例会11月会議 【11月4日】

人事案件

町長より同意案が提出され、次の方々の選任・任命に同意しました。

▽固定資産評価審査委員会委員の選任について
駕泊字栄町 工藤明夫氏

▽教育委員会委員の任命について
駕泊字野塚 山本洋子氏

選挙

▽選挙管理委員及び同補充員の選任について
選挙管理委員及び補充員の任期満了に伴い、議会において選挙された結果、次の方々が当選されました。

◎選挙管理委員

- 駕泊字本町 平田 茂氏
- 鬼脇字鬼脇 佐野秀春氏
- 鬼脇字鬼脇 山田信吾氏
- 駕泊字栄町 中西信一氏

◎選挙管理委員補充員
第1順位 駕泊字栄町 神田信司氏

第2順位 鬼脇字鬼脇 川村正博氏

第3順位 駕泊字栄町 工藤弘子氏

第4順位 鬼脇字鯉泊 渡辺つづ子氏

定例会11月 第2回会議 【11月25日】

条例改正

▽職員の給与に関する条例の一部改正について
〔改正点〕
平成26年人事院勧告に基づく改正。

◎H26給与改定の内容

- ・給料表の改定（平成26年4月1日～若年層を中心に平均0.3%引上げ）。
- ・通勤手当を月額1000円から3500円の幅で引上げ。
- ・勤勉手当を0.15月分引上げ。

◎H27給与改定の内容
・管理職員特別勤務手当の支給緩和
・給料表の改定（平成27年4月1日～平均2.0%引上げ（3年間の現給保障あり））。
・特定職員（55歳を超える6級以上の職員）の給料月額
の減額支給期間を定める。
・段階的実施に必要な原資確保のため、平成27年1月1日の昇給を1号俸抑制。
原案可決

▽利尻富士町長等の給与等に関する条例の一部改正について
〔改正点〕
平成26年人事院勧告により、一般職の勤勉手当が引上げられたことにより、町長等の期末手当についても0.15月分引上げる。
原案可決

委員会レポート

8月27日 総務民教産建常任委員会
9月22日 広報・広聴常任委員会

◎総務民教産建常任委員会

①災害対策用備品の内容及び配布状況

避難時に必要な「非常持出袋」を各地域訪問の上、説明会を開催しながら配布にあたったが、8月7日現在における配布率は約半数の52.6%となっている。予期できない災害に対応するためにも早期に全世帯配布が完了するよう望みます。また、非常持出袋の中身については、公助によるものとして避難の際に必要な非常用品を一部装備した内容になっているが、避難は行政関係機関の情報提供等の下に、自助・共助によるものが基本

であると考えられるため、今後より一層住民自らの防災・減災意識を高めながら、公助だけで終わることなく、各自必要なものを自ら備える意識づくりも積極的に行っていただきたい。

②高齢者等見守りファイル活用状況

地域福祉、高齢者福祉は急激な高齢化の進展に伴い、日常生活の生活支援や介護のあり方の見直しが喫緊の課題になってきている。こうした中で、関係機関との連携強化や情報の共有に努めながら地域の見守り体制を強化するため、高齢者見守りファイルを整備したことは適時適切な対応であったと思われる。高齢者や障がい者等の様々な情報を一元管理し、平常時はもとより災害時及び緊急時等にも積極的に活用し、身近な見守り体制を構築していただきたい。

③少子化及び子育て支援対策の実施状況

少子化問題は全国的な課題となっており、国においても実効性ある対応策が検討され

ている所である。当議会本会議においても度々質疑、質問されており、福祉課、教育委員会、社会福祉協議会等で様々な事業を展開しているが、支援策を講じても出生率を回復させ人口減少に歯止めをかけることは難しい状況になっている。少子化及び子育て支援の有効な対応策は生まれにくい環境にあることは理解しているが、国・道の動向も注視し、将来を見据えて持続可能な対策を各課連携しながら今後も実施していただき、若い世代が少子化及び子育て支援を実感できる対策が図られるよう期待する。

④国民健康保険事業及び後期高齢者医療制度並びに介護保険事業の状況

国保・後期高齢者・介護各事業の制度内容及び給付状況の説明を受け、予算編成等を含めた事業運営の難しさを目の当たりにした。3事業とも度重なる国の制度改正等により安定した会計運営は厳しさを増すと予想されるが、医療と介護は福祉行政の根幹になるものと思われ、今後も制度

改正等の動きを捉えながら、また、税・保険料の未収金対策にも意を呈し円滑な会計運営に努めていただきたい。

◎広報・広聴常任委員会

①議会だより利尻富士No.164の編集についての調査及び協議



年賀の挨拶状を失礼します。

公職選挙法によって、当該選挙区内の方に対し、答礼のため自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状は禁止されておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

議員一同



議 会 日 誌

10月

- 1日 敬老会（鬼脇地区）
- 2日 敬老会（鴛泊地区）
- 5日 鬼脇保育所・利尻小学校合同学芸会
- 8日 表彰者選考委員会
- 11日 金刀毘羅神社例大祭
- 12日 鴛泊小学校学芸会
鬼脇中学校学校祭
- 14日 道有施設要望活動
（稚内市、正副議長・米谷委員長）
- 15日 利尻島国民健康保険病院組合議会臨時会
- 17日 道有施設要望活動
（札幌市、正副議長・米谷委員長）
- 19日 自由民主党北海道第十二区選挙支部 平成26
年度宗谷管内ブロック協議会定例会並びに
自民党政経セミナー（稚内市、議長）
- 21日 利尻礼文消防事務組合議会臨時会
- 24日 総務民教産建常任委員会
- 26日 鴛泊保育所お遊戯会



平成26年11月11日、東京都で開催された「第33回離島振興市町村議会議長全国大会」において、全国離島振興市町村議会議長会理事である前田議長が決議案を壇上から提案し、満場をもって賛同を得ました。

11月

- 2日 自由民主党移動政調会（稚内市、議長）
- 3日 利尻富士町功労者表彰式
- 4日 定例会11月会議
- 10日 北海道離島振興市町村議会議長会優良市町村視
察（東京都八丈町、議長）
- 11日 離島振興市町村議会議長全国大会
（東京都、議長）
衆議院議員 武部新先生との意見交換会
（東京都、議長）
- 12日 町村議会議長全国大会（東京都、議長）
- 23日 利尻島新嘗感謝祭
- 25日 定例会11月第2回会議
議員会総会
林活利尻富士議連総会

12月

- 5日 議会運営委員会
- 7日 歳末チャリティー演芸会
- 12日 定例会12月会議
広報・広聴常任委員会
- 16日 利尻礼文消防事務組合議会
利尻島国民健康保険病院組合議会
- 17日 利尻郡清掃施設組合議会
利尻郡学校給食組合議会

議会の予定

- 2月 総務民教産建常任委員会
広報・広聴常任委員会
- 3月 定例会3月会議

※議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局にご確認下さい。

編集後記

寒さ厳しい師走となり、何かとあわただしい毎日を送られている事と思います。

色々とは本年の出来事を思い起こしても一つ一つ書くスペースはありませんが、先日12月14日に衆議院議員総選挙が行われ各政党の悲喜こもごもの光景を目にした訳ですが、何はともあれ迎える新年は戦後70年という節目の年でもあります。戦前から戦中・戦後と長い間過ごされてきた大先輩達と共に現代を生きながら、幸せを実感出来る年になつてほしいものだと希っています。

今年も残り一週間余りとなりました。2014年歳末にあたり町民皆様方におかれましては、どうか健康に留意され元気に新しい年を迎えられますことをお祈りいたします。

利尻富士町議会
広報・広聴常任委員会一同

